

令和7年度 1 学期末 教職員アンケート

| 4 そう思う 当てはまる<br>2 あまりそう思わない あまり当てはまらない                             | 3 ややそう思う やや当てはまる<br>1 そう思わない 当てはまらない | 4   | 3   | 2   | 1   |
|--|--------------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 生徒（子どもたち）は学校生活を楽しく過ごせている   |                                      | 63% | 38% | 0%  | 0%  |
| 学校での生徒の人間関係は良好である  |                                      | 50% | 38% | 13% | 0%  |
| 学校生活は落ち着いている（学校全体の雰囲気はよいと思う）                                       |                                      | 63% | 38% | 0%  | 0%  |
| 生徒の家庭学習は定着している   |                                      | 17% | 17% | 50% | 17% |
| 生徒は校内で自分から積極的に挨拶ができています  |                                      | 25% | 63% | 13% | 0%  |
| 生徒は顔を見て「あいさつ」ができています   |                                      | 13% | 75% | 13% | 0%  |
| 生徒の顔を見て積極的な「あいさつ」をしている。  |                                      | 63% | 25% | 13% | 0%  |
| 毎週1回（計画されている週）、「人間関係づくりプログラム」を実施した                                 |                                      | 83% | 0%  | 0%  | 17% |
| 「いじめ」のない学級・学年づくりに取り組んでいる   |                                      | 83% | 17% | 0%  | 0%  |
| 「いじめは、絶対にいけないこと」「いじめにつながる冷やかしのからかいもいけないこと」を指導している。                 |                                      | 75% | 13% | 13% | 0%  |
| 生徒の小さな変化を敏感に感じ、積極的にコミュニケーションを図ったり、学年（縦）や分掌（横）との報告・連絡・相談を確実にしたりしている |                                      | 75% | 25% | 0%  | 0%  |
| 校内の環境美化や整理に積極的に取り組んでいる   |                                      | 63% | 38% | 0%  | 0%  |
| 行事や活動は生徒にとって楽しく充実したものになっている ※生徒の活躍の場や自分たちで企画し判断・行動する機会を作っている       |                                      | 50% | 50% | 0%  | 0%  |
| 学習や活動を通して、生徒の「ふるさと大山を愛する気持ち」「大山に貢献する気持ち」の向上を図ることができた。              |                                      | 43% | 43% | 14% | 0%  |
| 生徒の健康や安全管理に適切に取り組むことができています  |                                      | 71% | 29% | 0%  | 0%  |
| 生徒の規範となる行動を心掛けている  |                                      | 75% | 25% | 0%  | 0%  |
| 授業規律の指導に取り組んでいる  |                                      | 75% | 25% | 0%  | 0%  |
| 1 時間完結型（「めあて」と「振り返り」のある授業）ができています                                  |                                      | 29% | 71% | 0%  | 0%  |
| 板書の構造化、板書とノートの一体化を考えた板書に取り組んでいる                                    |                                      | 57% | 29% | 14% | 0%  |
| 生徒指導の3機能を意識した授業を行っている  |                                      | 71% | 29% | 0%  | 0%  |
| 教科の特性に応じた有効な家庭学習方法について、授業で指導し実態に応じて課題を工夫している                       |                                      | 57% | 29% | 14% | 0%  |
| 問題解決的な展開の授業において、自分の考えを整理し、根拠をもって広げる場を、小単元に1回以上設定した                 |                                      | 86% | 0%  | 14% | 0%  |
| 授業では、タブレットを活用して得た情報や友人との意見交換から、生徒が自己の考えを持つ場面を設定した。                 |                                      | 57% | 29% | 14% | 0%  |

|   |      |     |     |     |
|---|------|-----|-----|-----|
| 授業や生徒会活動で、自己の考えを伝えたり発表したりする場を設定した。                          | 71%  | 29% | 0%  | 0%  |
| 自己判断力・自己表現力の向上に向けて、家庭と連携して取り組めた。<br>※「キャリア・ノート」コメント記入の取り組み等 | 67%  | 33% | 0%  | 0%  |
| 2週間に1回、問題データベースやキュービナを使った単元テストを実施した（5教科）                    | 60%  | 40% | 0%  | 0%  |
| 毎日の短学活に「対話」させる場面を位置付けた（学年部）                                 | 100% | 0%  | 0%  | 0%  |
| 家庭学習について、改善に向けた個別指導を行った。                                    | 67%  | 0%  | 33% | 0%  |
| チームの取り組みとして、通信を使って保護者に啓発や協力依頼を行った                           | 29%  | 29% | 29% | 14% |
| S N Sに関する指導を行った。  | 57%  | 43% | 0%  | 0%  |
| 学校は家庭や地域への連絡や情報提供を適切に行っている ※学校だより、学級通信、配信メール、学校ホームページなど     | 38%  | 50% | 13% | 0%  |
| 育友会活動や、保護者・地域との連携した活動に積極的に取り組んでいる                           | 50%  | 50% | 0%  | 0%  |
| 教職員は協力して教育活動に取り組んでいる  | 88%  | 13% | 0%  | 0%  |
| 目標退勤時間（生徒下校後60分）に対応した、1日のタイムスケジュールを立てている                    | 25%  | 63% | 13% | 0%  |
| 効果的、効率的な働き方に努めた結果、「時間外勤務時間が短縮した」と感じる                        | 25%  | 38% | 38% | 0%  |